

第68回国民体育大会多摩市準備委員会設立趣意書

平成25年に東京都で開催される第68回国民体育大会において、多摩市ではハンドボール競技、サッカー競技を開催することになりました。

この国民体育大会は、戦後の混乱期からスタートし半世紀以上にわたって広く国民に親しまれ、我が国最大のスポーツの祭典としてその振興とともに健康増進や体力向上の意識の進展に大きく寄与してまいりました。

近年、社会環境の変化やライフスタイルの多様化に伴い、心身の健康管理の意識が高まっており、スポーツと健康に対して多くの市民が関心を持っております。さらに、スポーツに対して様々な形で関わることは、学校、家庭、地域社会を結びつけるコミュニケーションの役割を担っております。

この国民体育大会を多摩市で開催することは、市民一人ひとりがゆとりと豊かさを実感できる真の生涯スポーツ社会の実現や、元気で活力のある地域づくりを進めるうえで、極めて意義深いものであり、多摩市の魅力を広く全国にアピールする絶好の機会であります。

また、大会開催に向けて市民が一体となり連帯感を深めることは、「私たちのまちの自治を推進し、市民の持つ個性と能力がまちづくりに発揮される地域社会の実現」を目指す多摩市のまちづくりに極めて有意義なものと期待されます。

このような意義ある国民体育大会を、多摩市において成功させるためには、市民、事業者、関係機関・団体、行政が綿密な連携のもと、市民の英知とエネルギーを結集し開催準備に取り組む必要があります。そのため、ここに市民各界各層からなる「第68回国民体育大会多摩市準備委員会」を設立するものであります。

平成21年6月30日

第68回国民体育大会多摩市準備委員会設立発起人

渡辺幸子〔多摩市長〕

折戸小夜子〔多摩市議会議長〕

臼井千秋〔多摩市名誉市民、元多摩市長〕

杉本泰昭〔多摩市体育協会会長〕

峯岸松三〔多摩商工会議所会頭〕

杉浦茂夫〔多摩市ハンドボール連盟会長〕

小林正則〔NPO法人多摩サッカー協会会長〕

土田和歌子〔多摩市民、スポーツ功労者〕